

●ロカベンで把握した経営課題の解決に取り組み、過去最高の増収増益を達成

企業側情報

- 商号 : 株式会社新井精密
- 住所 : 〒368-0061 埼玉県秩父市小柱670番地
- 業種 : 製造業
- 従業員数 : 60人(平成28年9月期)
- 資本金 : 1000万円
- 売上高 : 6.5億円(平成28年9月期)
- 代表者名 : 新井 利幸
- URL : <https://araiseimitsu.com/>

支援機関情報

- 商号 : 秩父商工会議所
- 住所 : 〒368-0046 埼玉県秩父市宮側町1番7号
- 業種 : 支援機関(商工会議所)
- 代表者名 : 会頭 西村 耕一
- URL : <http://www.chichibu-cci.or.jp/>

ロカベン活用前の状態

●事業内容

自動車分野、医療機器分野、コネクタ分野等における精密機械加工を手掛けている。現社長の父親が昭和53年に創業し、現社長は2代目である。業容は拡大傾向にあり、平成28年に新社屋を建設。本社工場として操業を開始している。



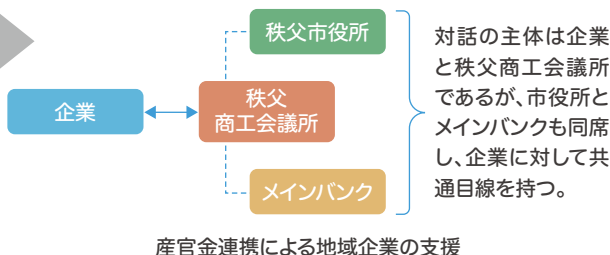
医療用部品



検品

●ロカベン活用の狙い

秩父地域における成長企業であり、代表者自身がビジネススクールに参加する等、非常に熱心である。秩父商工会議所としては平成26年にものづくり補助金の支援を行った経緯がある。新社屋建設や代表者交代が一段落した段階で、当社の現状や今後の展開を明確にすべきタイミングであった。また、地域の支援機関や金融機関も当社の状況について共に理解しておく機会であると考えた。



対話の視点

地域の中核企業であるため、秩父商工会議所を中心に、秩父市役所、メインバンクが同席し、新井精密の強みや課題、今後の取り組み内容を共有するための対話を行った。

対話結果

明らかになったこと

経営の強み

- ・「3年後に年商10億円」という高い目標を掲げており、現在ISO、BCP、労働安全管理等の導入等、目標達成に向けた管理体制システムは整備されつつある。
- ・計画的な設備更新とそれを支える人材への投資を惜しまず行っている。
- ・キーマンを採用したことにより、独自の生産管理システムが確立され、生産性の向上が大きく進んだことで、売上の伸びや収益性向上に繋がっている。
- ・中核人材は30~40歳代と若いのが特徴。現会長は社員と一致団結し、会社を創りあげてきたことから、社長も「社員とともに成長していく」組織文化を大切にしている。

経営の課題

- ① 事業拡大に伴い、社長が戦略的意思決定に専念できる体制の構築
- ② 負債と資本の調達バランスや収益率を考慮した投資計画の実施(財務分析結果では自己資本比率が業界基準を下回った)
- ③ 株式承継対策の早期実施

対応策

- ① 社長の右腕たる人材の採用と企業の成長にあわせた組織デザインの構築
- ② 企業価値を向上させるような投資計画の立案
- ③ 会長と社長の間での合意形成、対策の早期実施(株式承継対策)

対応策の実施

①右腕の採用と組織デザインの構築

- 社長の右腕たる人材確保(プロフェッショナル人材事業(※)の活用)
- ・人事労務、安全衛生管理などに長けたプロフェッショナル人材を採用
- ・人事評価制度の構築に着手
- ・ISO、BCPなどの取組みをより一層強化
- ・社長が経営の意思決定や営業活動に注力できる体制を構築
- 企業の成長にあわせた組織デザインの構築
- ・品質管理機能の強化(品質内部監査機能の強化・品質保証体制の充実)
- ・優秀な若手人材を経営幹部へ登用(経営の意思決定の参画)
- ・社内コミュニケーション機会の充実(部門・部門間の会議の強化)
- ・埼玉県産業振興公社など支援機関の有効活用

②投資計画の立案

- 生産プロセス革新の取組み(IoTとQR生産管理システムの導入)
- ・社長、若手経営幹部、秩父商工会議所で会合を開き、費用対効果を見定めながら投資計画の立案と実行を行う
- ・秩父商工会議所の支援により、ものづくり補助金(平成29年度)に申請・採択
- ・IoTによりCNC旋盤の稼働状況や加工数量などを常時監視
- ・QRコードによる生産管理システムを自社製作。多品種少量の製造品目の識別をリアルタイムに識別、モノの流れを見える化
- ・高精度加工対応のCNC旋盤や測定機器を導入し、付加価値の高い受注を取り込む

③株式承継対策

- 株式の承継
- ・秩父商工会議所が仲介役となり、会長と社長の合意形成を実現
- ・顧問税理士・メインバンクを含め、株式の承継計画を具体化
- ・平成29年度に全株式の譲渡終了

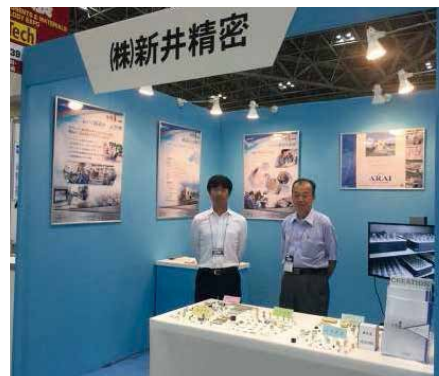
(※)<http://www.pro-jinzai.go.jp>

対応策実施後

効果

上記対応策に加え、バックオフィスの生産性向上等への取組み(勤怠管理や人事労務管理のクラウド化、社内SNSを活用した情報共有強化)を実施。今後クラウド会計システムを導入し、更にバックオフィスの生産性向上を進めていく予定。

ロカベン実施から2年経過し、今期の決算見込みは過去最高の増収増益でいよいよ3年後の10億が目の前に来ている。営業面においても積極的に機械要素技術展など、全国各地の展示会に出展中。



	平成28年9月期	平成30年9月期	増加率
売上高	6.5億円	8.6億円	32.3%増
従業員数	60人	75人	25.0%増

経営者／支援者の声

経営者の声

対話を通じて頭の中を整理することができた。また、紙に落とすことが整理を行う上で重要であると感じる。また、基本的には自社のことしかわからないので、改めて指摘してもらうことは貴重な機会であると思う。例えば、自社の支払っている給与水準が他と比べて高いといったことは新たな認識であり、ビジネススクールで付き合いのある社長等とは情報交換するものの、人件費等までの腹を割った話はできていない。このような場で客観的な意見に基づく議論ができることは非常に有意義と感じる。

支援者の声

新井精密は秩父を代表するものづくり企業であり、新井社長は経営の勉強会にも熱心に通う向上心の強い経営者。秩父商工会議所との連携も日常的に行っており、ロカベン活用後の対応策実施の際にも、プロフェッショナル人材事業の活用やものづくり補助金の活用、他の支援機関の専門家活用などを通じて、経営改善に取り組んでいる。今後も同社のさらなる発展を地域で連携し、支援していく。